

企業価値最大化に向けた戦略的方針転換について

- スピンオフ上場の方針取り下げ及び新たな株主還元策の導入

2026/3/2

東証プライム 3676

<https://www.digitalhearts-hd.com/>

エグゼクティブサマリー

AIの進展を背景にIT関連銘柄の株価が下落するなど、株式市場の不透明性が高まったことを受け、スピノフ上場の方針を取り下げるとともに、新たな株主還元策の実施を決議

方針変更

株式会社AGESTの
スピノフ上場の方針を取り下げ

AIの普及拡大等により
IT関連銘柄の株価が下落



スピノフ上場の断行は
株主利益を毀損しうると判断

新たな株主還元策

期末配当予想の修正、配当方針の変更
株主優待制度の導入

- 2026年3月期の1株当たり
期末配当予想を2円増配
- 配当方針を累進配当に変更
- 500株(5单元)以上保有の
株主様に一律でQUOカード
10,000円分を進呈

継続的かつ安定的な株主還元を実施

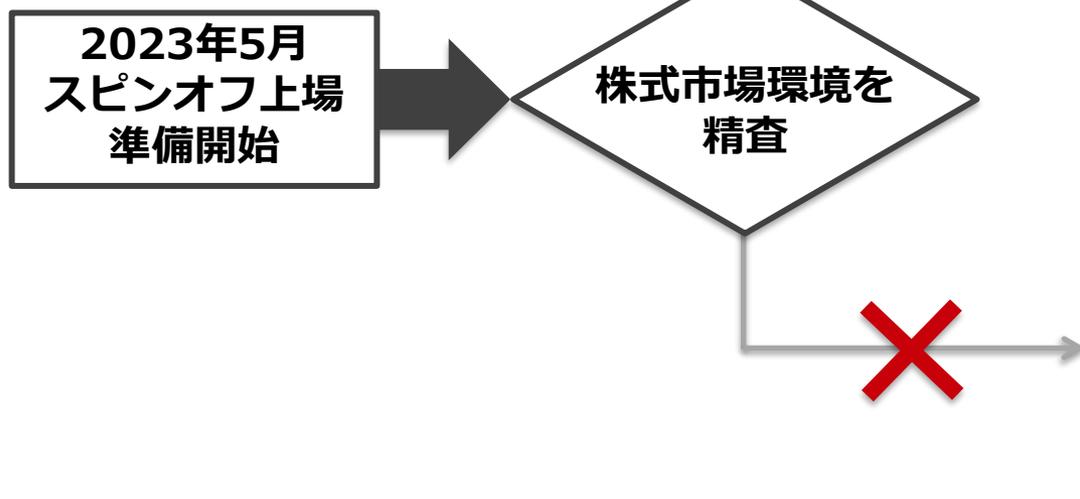
2023年5月以降スピンオフ上場準備を進め、当期は3Q累計期間として過去最高益を更新するも昨今の不透明感の高い株式市場環境下でのスピンオフ上場断行は、株主利益を毀損しうると判断

戦略的方針転換

- スピンオフ上場の方針を取り下げ
- 累進配当や株主優待制度の導入による継続的かつ安定的な株主還元

スピンオフ上場断行

- 株式分配型スピンオフ上場の実行時における企業価値(=株価)が低評価となるリスク
- ⇒株主利益を損なうおそれ有



引き続き2つの独立した企業グループ経営を行い、
それぞれの専門性に特化した成長戦略を推進することで、企業価値最大化を目指す

DHグループ事業

AI時代のゲーム開発に最も重要となる 人の感性を活かした“エンタメ品質”保証

ゲームに精通した人材だからこそできる
AIには不可能な「感性」「感覚」「閃き」



- ゲームの世界観や心地よい操作性、楽しさ、AIには発見できない想定外のバグ等を、人にしか出来ないアプローチで検証することで、ゲームの魅力を最大化
- 独自のゲーム特化型AI翻訳エンジン“ella”の活用により、グローバルタイトルの多言語展開にも高品質×高スピードで対応

AGESTグループ事業

AI時代の品質と安全を守る 日本発の“AIセキュリティカンパニー”

「可視化する」「守る」「検証する」を
一気通貫で提供



- 独自の純国産SBOM(*)管理ツールでAIソフトウェアの脆弱性やリスクを可視化
- 24時間/365日稼働のセキュリティ・オペレーション・センターによる国内最大級のAIランサムウェア監視
- 独自のテスト基盤“TFACT”でAI品質保証を自動化

スピンオフ上場に代わる新たな株主還元策を決議
今後も成長投資を積極化しつつも、継続的かつ安定的な株主還元を目指す



期末配当予想の修正

26/3期 1株当たり期末配当予想
11.5円 ⇒ 13.5円



配当方針の変更

配当性向20%を下限の目途
⇒ **累進配当**



株主優待制度の導入

基準日に500株以上保有の
株主様に
QUOカード 1万円分

**年間想定利回りが大幅に向上
(5.0%想定*)**

*株主優待の対象となる500株(5単元)を保有される株主様の想定利回りを2026年2月27日の終値897円をベースに算出(配当利回り2.8%+優待利回り2.2%)
なお、上記利回りは将来の投資成果を保証するものではありません。

參考資料

スピンオフにより、明確に異なる事業価値創造戦略を有する2つの事業を個別に上場することで経営フォーカスと最適な資本政策を通じて各事業が有するポテンシャルの最大化を目指す

DHグループ事業

- 確立され、差別化された事業モデル
- 明確なValue Proposition
- コア事業の縦横展開(グローバル展開)



拠点投資と安定成長

目指す姿

“エンターテインメント業界の
グローバル・クオリティ・パートナー”として
世界市場で戦える企業グループへ

AGESTグループ事業

- 変化・革新を求められる事業モデル
- イノベーションから生まれる事業価値
- 技術とスペシャリストの付加価値向上



技術投資と革新的な成長

目指す姿

“エンタープライズシステムの「品質」を先端技術で
支えるAI時代のAIテスト企業”へ

■スピンオフ上場の期待効果

- ✓ 経営のフォーカスが高まり、新たな株主も惹きつける最適な資本政策で、中期的な収益性が向上
- ✓ 内在する個別事業価値が市場で直接評価されることで、それぞれの事業が有する本源的な価値に収れん
- ✓ コングロマリット・ディスカウント等が解消され、シンプルでわかりやすい株価形成へ

2023年5月のスピノフ上場準備開始以降、**事実上の独立経営体制に移行し、迅速な経営判断及び事業特性に応じた集中的な投資を行った結果**
ゲーム・エンターテインメント事業とIT・エンタープライズ事業という異なる市場において、
両事業とも一切の妥協なく、確実に変革と成長を実現

DHグループ

サービス多様化、世界市場参入

- エンタメ業界からの中途採用拡大
- 独自のゲーム特化型AI翻訳エンジンの開発

- ゲームショウへの積極出展
- グローバル大手の日本地域における優先ベンダーに選定

- 海外M&Aや現地法人設立
- AIやeSports等、新領域への挑戦

人的リソース 事業基盤

クライアント

ビジネスモデル

AGESTグループ

エンジニア増強、技術力強化

- ハイスکیلエンジニアの採用加速
- QA技術の追求やAI活用を推進

- “Tech”企業ブランディング構築
- 国内クライアントの獲得

- 海外事業の収益構造改革
- ノンコア事業の縮小

AIの普及拡大を背景に急激に変化する株式市場環境を鑑み 現在の環境下でスピンオフ上場を断行することは株主利益を毀損しうると判断

■ 株式市場の変化

1. AIの脅威/“SaaSの死”

- 「AIがソフトウェア開発を代替=人間不要」という連想から、既存ITビジネスの成長性に対する見方が慎重化
- 様々な生成AIエージェントの台頭を背景に、従来型SaaSモデルの持続的な競争優位性に対する懸念が拡大

2. 金利上昇

- 金利上昇により、将来キャッシュフローの割引率が上昇し、高PER銘柄のバリュエーションが調整

国内主要IT関連銘柄株価下落率平均^(*1/*2)

△ 24.5% 

日経平均株価上昇率^(*1)

+16.9% 

*1 2025年12月30日終値～2026年2月27日終値の下落率。
個別株価については、東証上場銘柄の終値ベースで当社にて集計。

*2 以下8社の株価下落率の単純平均を当社にて集計。
社名は五十音順に記載。

- ・株式会社オービックビジネスコンサルタント
- ・株式会社SHIFT
- ・株式会社野村総合研究所
- ・TIS株式会社
- ・日本オラクル株式会社
- ・日本電気株式会社
- ・BIPROGY株式会社
- ・富士通株式会社

⇒ IT関連銘柄の株価が大幅に下落し、先行きが不透明に

AI時代のゲーム開発に最も重要となる 人の感性を活かした“エンタメ品質”保証

ゲームに精通した人材だからこそできる
AIには不可能な「感性」「感覚」「閃き」

- ✓ ゲーム性や心地よい操作性等、ユーザー視点からの徹底的なチェックでゲームの魅力を最大化
- ✓ 不具合の優先順位や修正の要否判断等、AIにはできないビジネス判断で開発スピードと品質を両立
- ✓ “人”が実際にプレイすることで、AIのつく“嘘(ハルシネーション)”や不自然さを検出
- ✓ ゲームの世界観を再現可能な独自のゲーム特化型AI翻訳エンジン“ella”とゲームに精通したネイティブスタッフによる高品質かつ高効率なローカライズ
- ✓ マルチプラットフォーム、マルチ言語対応で複雑化するゲーム開発プロジェクトをワンストップで支援するグローバル・ソリューション・ケーパビリティ



AI時代の品質と安全を守る 日本発の“AIセキュリティカンパニー”

独自のAIセキュリティソリューションと革新的なAIテスト基盤TFACTにより
“可視化する”、“守る”、“検証する”を一気通貫で提供

- ✓ 独自の純国産SBOM管理ツールでAIソフトウェアの脆弱性を可視化。セキュリティリスクの劇的な軽減、開発効率の向上等、AI時代におけるソフトウェア開発サイクルの信頼性と効率を高めます。
- ✓ 24時間/365日稼働のセキュリティ・オペレーション・センターによる国内最大級のAIランサムウェア監視。サイバー脅威の早期発見による被害の最小化、高度な分析による攻撃シナリオや未知の脅威の特定を可能にし、高度化するセキュリティリスクから企業を守ります。
- ✓ 独自のAIテスト基盤“TFACT”でAI品質保証を自動化。テスト工程の圧倒的な効率化と高品質化を実現し、テスト業界に革新を起こします。



今後も成長投資を積極化しつつも、継続的かつ安定的な株主還元を目指し、
 期末配当予想を増配するとともに、累進配当及び株主優待制度を導入

■ 配当方針の変更

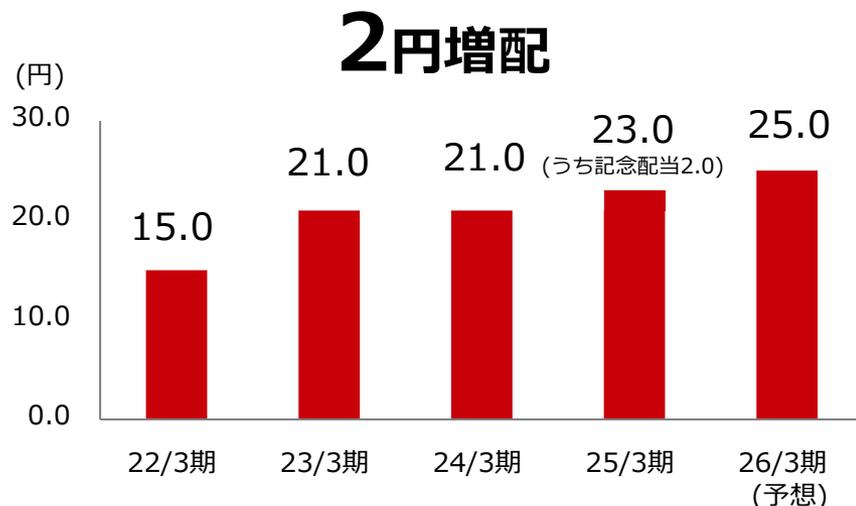
(変更前) 配当性向20%を下限の目途として配当を行うことを基本方針

(変更後) 累進配当をベースとする継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針

⇒ **上場以来減配せず安定的な配当を実施してきたこともあり、
 このような当社の姿勢をより明確化する観点から配当方針を変更**

■ 期末配当予想の修正

26/3期の1株当たり期末配当予想を



■ 株主優待制度の導入

対象株主様

基準日(毎年3月31日)の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を500株(5単元)以上保有されている株主様

株主優待の内容

対象の株主様1名につき一律で

QUOカード

10,000円分



今後も両事業の成長を追求することで強固な財務基盤を構築し、 株主還元の好循環を目指す

継続的かつ安定的な 株主還元

- 累進配当をベースとする配当方針
- 株主優待制度



2大事業の収益力向上

- AI時代に“勝てる”事業基盤への進化



安定した キャッシュフローの創出

- 両事業の収益性を改善



DIGITAL HEARTS HLDGS.

＜お問い合わせ先＞

IR 広報室

電話：03-3373-0081

Email：ir_info@digitalhearts.com

HPアドレス：<https://www.digitalhearts-hd.com>

本資料はインベスター・リレーションズに関わる活動（IR活動）を実施する際の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資判断の参考となる情報の提供及び投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は弊社が信頼に足ると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性及び完全性を保証するものではありません。また、本資料の内容は、作成時における弊社の見解または評価を示したものであり、市場環境の変化等により予告なく変更される場合があります。

また、本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

なお、各社の会社名、サービス・製品名は各社の商標または登録商標です。